

高校入試のしくみ

- ◇「入試の概要を知るための資料」として保管してください。
- ◇本資料は、先日終了した2022年度入試のもの。
- ◇2023年度入試の日程および概要は7月頃に神奈川県教育委員会より発表される予定です。



公立高校入試のしくみ

① 2022年度入試要項抜粋(全日制一般募集)

《共通選抜》

1. 募集期間および入学願書の受付時間

募集期間	郵送 2022年1月25日(火)~1月27日(木)必着 窓口 2022年1月28日(金)~2月1日(火)
受付時間	1月28日(金)・31日(月)は午前9時~正午、午後1時~4時まで 2月1日(火)は午前9時~正午まで

2. 志願変更の期間および受付時間

志願変更期間	2022年2月4日(金)~8日(火)
受付時間	2月4日(金)・7日(月)は午前9時~正午、午後1時~4時まで 2月8日(火)は午前9時~正午まで

3. 学力検査の期日および会場

期日	2022年2月15日(火)
会場	志願先の高等学校

4. 面接の期日および会場

期日	2022年2月16日(水)・17日(木) 高校の指定した日時に実施
会場	志願先の高等学校

5. 特色検査の期日および会場(実施する場合)

期日	2022年2月15日(火)・16日(水)・17日(木) 高校の指定した日時に実施
会場	志願先の高等学校

6. 学力検査の追検査の期日および会場

期日	2022年2月21日(月)
会場	県立総合教育センター(藤沢市書行)の予定

7. 合格者の発表日時および場所

期日	2022年3月1日(火)
時間	午前9時から
方法	合格発表Webサイトで確認

2021年春は以下の通り行われました。
 ◎「合格発表Webサイト」による合格発表
 3月1日午前9時~2日午後6時まで
 ◎合格者は3月1日午前10時以降に志願先の高等学校で「合格通知書」等を手渡し

《学力検査の教科および時間割》

時刻	教科
8:50~9:10	検査についての注意
9:20~10:10	英語(リスニングテスト含む)
10:25	予鈴
10:30~11:20	国語
11:35	予鈴
11:40~12:30	数学
12:30~13:15	昼食
13:15	予鈴
13:20~14:10	理科
14:25	予鈴
14:30~15:20	社会

※追検査の時間割は上記とは異なります。

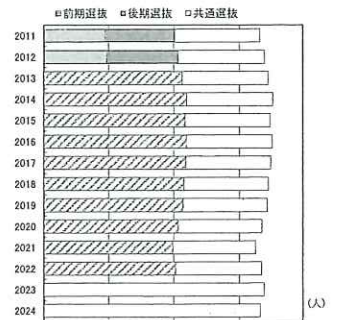
※すべて全日制の課程で一般募集のものです。全日制の選抜募集・特別募集・中途進学者募集・別科・定時制や通信制については、『令和4年度 神奈川県公立高等学校の入学者の募集及び選抜実施要領』でご確認ください。

◇追検査:インフルエンザの罹患等、やむを得ない事情により学力検査の全てを受検できなかった志願者の中で、希望する者を対象に実施します。特色検査の追検査は実施しません。
 なお、クリエイティブスクールにおいては、面接の追検査を2月22日(火)および24日(木)のうち、高校の指定した日時に実施します。会場は志願先の高等学校です。

② 受検状況の推移(全日制一般募集)

■ 公立中学卒業生数と公立高校募集定員(全日制)

年度	前期	後期	合計	卒業生数
2011	18,940名	21,429名	40,369名	66,521名
2012	19,412名	21,998名	41,410名	67,856名
2013			42,560名	68,969名
2014			43,760名	70,571名
2015			43,300名	69,744名
2016			43,750名	70,397名
2017			43,530名	69,996名
2018			42,990名	69,140名
2019			42,759名	68,742名
2020			41,280名	67,115名
2021			39,730名	65,159名
2022			40,530名	67,039名
2023			-	67,760名
2024			-	66,625名



※全日制一般募集・選抜募集(カレッジ教育を除く)のみの集計です。特別募集・定時制等は除きます。
 ※2022年度以降の公立中学卒業生数は、神奈川県学校基本調査による2021年度5月時点での当該年度の公立中学校生徒数(義務教育学校を含む)です。
 ※2023年度以降の公立高校募集定員の詳細は未定です。

■ 受検状況(全日制)

形態	年度	募集人員	面接者数	合格者数	実質倍率
前期選抜	2011	18,940名	40,596名	19,125名	2.12倍
	2012	19,412名	40,214名	19,555名	2.06倍

※実質倍率=面接者数÷合格者数

形態	年度	募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	合格率	応募倍率	受検倍率	実質倍率
後期選抜	2011	21,431名	31,241名	30,524名	21,651名	71%	1.46倍	1.42倍	1.41倍
	2012	22,019名	31,733名	31,099名	22,233名	71%	1.44倍	1.41倍	1.40倍

※陣迫者・欠員などが生じるため、後期選抜の募集人員は本ページ最上段の表とは一致しません。
 ※全日制一般募集・選抜募集のみの集計です。特別募集・定時制等は除きます。
 ※合格率 = 合格者数 ÷ 受検者数 × 100 応募倍率 = 志願者数 ÷ 募集人員
 受検倍率 = 受検者数 ÷ 募集人員 実質倍率 = 面接者数 ÷ 合格者数

形態	年度	募集人員	志願者数	受検者数	合格者数	合格率	応募倍率	受検倍率	実質倍率	
前期・後期選抜合計	2011	40,369名	50,366名	49,649名	40,776名	82%	1.25倍	1.23倍	1.22倍	
	2012	41,410名	51,288名	50,654名	41,789名	82%	1.24倍	1.22倍	1.21倍	
共通選抜	2013	42,560名	50,578名	49,971名	42,513名	85%	1.19倍	1.17倍	1.18倍	
	2014	43,760名	52,499名	51,932名	43,849名	84%	1.20倍	1.19倍	1.18倍	
	2015	43,300名	52,159名	51,471名	43,291名	84%	1.20倍	1.19倍	1.19倍	
	2016	43,750名	53,277名	52,638名	43,609名	83%	1.22倍	1.20倍	1.21倍	
	2017	43,530名	52,851名	52,290名	43,445名	83%	1.21倍	1.20倍	1.20倍	
	2018	42,990名	51,739名	51,328名	42,722名	83%	1.20倍	1.19倍	1.20倍	
	2019	42,759名	50,848名	50,446名	42,229名	84%	1.19倍	1.18倍	1.19倍	
	2020	41,280名	48,275名	47,891名	40,287名	84%	1.17倍	1.16倍	1.19倍	
	2021	39,730名	46,714名	46,270名	38,772名	84%	1.18倍	1.16倍	1.19倍	
	2022									
	2023									

※全日制一般募集・選抜募集(カレッジ教育を除く)のみの集計です。特別募集・定時制等は除きます。
 ※2012年以前については、志願者数=前期選抜合格者数+後期選抜志願者数、受検者数=前期選抜合格者数+後期選抜合格者数、合格者数=前期選抜合格者数+後期選抜合格者数、で計算しています。
 ※合格率・応募倍率・受検倍率・実質倍率については、中級の後期選抜と同じ計算方法です。

③ 現在の入学者選抜制度

2013(平成25)年度入試から、神奈川県公立高校の入試制度が変わりました。すべての課程(全日制・定時制・通信制)で実施される「共通選抜」と、定時制・通信制のみで実施される「定通分割選抜」が設けられています。

入試制度を改善したなわい

- ◇ 当時の新学習指導要領に基づいた「新たな学力」を的確に把握する
 中学校では2012(平成24)年度から、高等学校では2013(平成25)年度から当時の新しい学習指導要領が施行されました。当時の新学習指導要領は、2002年度実施の学習指導要領で削除された学習単元の復活と、授業時数的大幅な拡大を特徴としていますが、もう一つの特徴が、「新たな学力」の育成です。「新たな学力」は、以下の3つの要素から成ります。
 - ・基礎的な知識及び技能
 - ・思考力、判断力、表現力その他の能力
 - ・主体的に学習に取り組む態度(学習意欲)
- ◇ 旧制度の課題である長期化と複雑化の改善を図る
 2012年度までの入試制度は、前期・後期でそれぞれ選抜するため、前期選抜の出願から後期選抜の発表まで、およそ40日間ありました(全日制のみの場合)。また、前期・後期の選抜方法が学校ごとに異なり、複雑になっていました。

《現在の入試制度の特徴 その1》 選抜の機会は1回(全日制)

全日制、定時制、通信制のすべての課程で、「共通選抜」が実施されています。旧制度では前期・後期の2回の選抜を実施していましたが、課題であった長期化と複雑化を是正するために、2回の選抜を一体化し、選抜の機会が1回になりました。

- ◇ 共通選抜は、全日制・定時制・通信制のすべての課程で、同じ日程に実施されます。
- ◇ いずれかの高校のいずれかの課程・学科・コース等に、1つだけ志願することができます。
- ◇ 出願後1回だけ、他の高校または同じ高校の他の課程・学科・コース等に志願を変更できます。
- ◇ 定時制と通信制では、共通選抜の募集人員は全体の80%になります。残りの20%は、共通選抜の後に実施される「定通分割選抜」で選抜します。
 ※ 定通分割選抜は、出願の時点で、どの公立高校等にも合格しない者だけが出願できます。
 ※ 夜間以外の定時制(市立川崎・東立川崎・厚木南高・市立横浜総合・相模向陽館・横浜明研)は、共通選抜のみの実施となります。

参考：現行制度での選抜日程の概要(2022年度)

	1月	2月	3月
新制度	共通選抜 (私立高校を除く)	共通選抜 (私立高校を除く)	定通分割選抜 (私立高校を除く)
旧制度	共通選抜 (私立高校を除く)	共通選抜 (私立高校を除く)	定通分割選抜 (私立高校を除く)

※ 追加の検査は、新型コロナウイルス感染症対策として実施。
 ※ この他、各課程で二次募集あり(欠員の生じた高校のみ実施)。

《現在の入試制度の特徴 その5》 各校の特色に応じた検査も実施できる

共通の検査(学力検査と面接)以外に、各高校の特色に応じた検査を実施することができます。これを「特色検査」といいます。

- ◇ 特色検査には、「実技検査」と「自己表現検査」の2種類があります。
- ◇ 特色検査を実施する高校は、学力検査の教科数を3教科まで減らすことができます。

参考：特色検査を実施する全日制高校(クリエイティブスクールを除く)2022年度

特色検査の種類	実施校・学科・コース
自己表現検査	筆記型 (共通選抜と共通選抜併用) 横浜翠嵐、川和、希聖ヶ丘、光陵、横浜平沼、柏陽、横浜緑ヶ丘、多摩、横浜貴、湘南、鎌倉、茅ヶ崎北陵、平塚江南、小田原、厚木、大和、相模原、横浜国府(国際科/国際科)など
	筆記型(上記以外) 討論型 市立横浜(国際科)
実技検査	神奈川県総合(舞台芸術)
	市立戸塚(音楽)、神奈川県工業(デザイン)、市立川崎総合科学(デザイン)、市立横浜商業(デザイン/ファッション)、厚木北(デザイン科学)、白山(美術)、上矢部(美術)、市立橋本(デザイン)、相模原弥生(音楽/美術/デザイン科学)、神奈川県総合(舞台芸術)

《現在の入試制度の特徴 その6》 各資料の比率は各校が選択する

選抜は、第1次選考と第2次選考に分かれていて、それぞれ「数値S₁(S₁値)」「数値S₂(S₂値)」を用いて選考が行われます。S₁・S₂値を算出する際の比率は、定められた範囲内で各高校が選択します。

- ◇ 第1次選考は、共通選抜の募集人員の90%まで、S₁値の順に選考します。S₁値は、調査書・学力検査・面接の結果をもとに、各校が定めた比率で算出します。
 ※ 資料の一部(おしに調査書)が整わない者については、参考にできる資料を活用します。
- ◇ 第2次選考は、S₂値の順に選考します。S₂値は、資料の一部が整わない者にも対応し、調査書の評定を用いずに算出します。
 ※ 資料の一部が整わない者だけでなく、第1次選考に選んだ者も対象になります。
- ◇ 各資料の比率は、それぞれを2以上の整数にして、全体の合計が10になるように配分します。
- ◇ 特色検査を実施した場合は、その比率を5以下の整数にして、合計の10に加えます。
- ◇ 調査書や学力検査は、各校ごとに重点化することができます。
 ※ 調査書の評定は、第1次選考に限り、3教科の範囲で2倍を限度に重点化できます。
 ※ 学力検査の得点は、第1次選考・第2次選考のいずれでも、2教科の範囲で2倍を限度に重点化できます。

- ※ 以下の高校および募集の選考方法は上記とは異なります。
 選抜募集、特別募集、中途進学募集、別科
 全日制クリエイティブスクール(田奈・金谷・横浜国府(普通科)・大井・大和町)
 定時制フロンティアスクール(横浜明研・相模向陽館)
 横浜国府国際(グローバル)
- ※ 横浜国府(国際科)の共通選抜では、第1回目の選考で募集人員の80%までS₁の順に選考します。第2回目の選考では、第1回目の選考で不合格者に加え、国際バカロレアコース不合格で国際科を第2希望とする者も対象にしてS₂の順に選考します。

《現在の入試制度の特徴 その2》 全員が学力検査と面接を受験する

すべての高校に共通の検査として、学力検査と面接が実施されています。学力検査では、おもに「基礎的な知識及び技能」と「思考力、判断力、表現力等」を測り、面接では、「主体的に学習に取り組む姿勢(学習意欲)」を測ります。

- ◇ 学力検査は、幅広い領域で「新たな学力」を把握するため、5教科で実施されます。
 ※ 高校によって、2教科の範囲で2倍までの重点化をすることができます。
 ※ 定時制は、これまでどおり3教科の実施となります。
 ※ 通信制とクリエイティブスクールは、これまでどおり学力検査を実施しません。
 ※ 「特色検査」を実施する高校は、学力検査を3教科まで減らすことができます。
- ◇ 面接では、以下を全校共通の観点として評価します。各校ごとに観点を追加することもできます。
 ・入学希望の理由
 ・中学校での教科等に対する学習意欲
 ・中学3年間での教科等以外の活動に対する意欲
- ◇ 面接の参考資料として、「面接シート」を事前に提出します(P8参照)。
 ※ このシートの内容は点数化されません。シートを参考に実施される面接が点数化されます。

《現在の入試制度の特徴 その3》 学力検査は「思考力・判断力・表現力」を重視

学力検査の内容が改められました。また、各教科の満点は100点になりました。これまでの学力検査(全県共通問題)は、「基礎的な知識及び技能」の把握に重きが置かれていました。そこで、「新たな学力」をバランスよく測るため、「思考力、判断力、表現力等」の把握をより重視した内容へと改められました。これにより、2012年度まで一部の高校で実施されてきた独自の学力検査問題は、すべて廃止されました。

《現在の入試制度の特徴 その4》 調査書は評定だけを資料にする

中学校が作成し、受験生が随書とともに提出する「調査書」(いわゆる「内申」)は、これまでと同様に選考資料となります。ただし、5段階の「評定」のみを資料とします(クリエイティブスクールを除く)。調査書は、「学習の記録」と「総合所見及び諸活動の記録」から成ります。「学習の記録」には、各教科の5段階の「評定」と、教科ごとに4〜5つの観点に分かれた「観点別評価」(3段階)が記載されています。また、「総合所見及び諸活動の記録」には、部活動や生徒会などの課外活動の実績等が記載されています。

- ◇ 調査書は、「評定」だけを資料とします。
 ※ クリエイティブスクールは、評定を資料とせず、観点別評価を活用します。
 ※ 諸活動の記録や所見所感等に点数化されている内容は、面接の際の参考資料としますが、点数化はしません。
- ◇ 第2学年と第3学年の9教科の評定を、以下の計算式にしたがって点数化します。
 2年3学期(または後期) 5段階×9教科 = 45点満点
 3年2学期(または同時期) 5段階×9教科×2 = 90点満点 合計135点満点
 ※ 高校によって、3教科の範囲で、2学年+3学年×2の合計値に2倍までの重点化をすることができます。

◇ 募集人員の内訳 <募集人員2,37名(1学年5学級)とした場合>

募集人員	[第1次選考] 定員の90% = [2,13名]	[第2次選考] 定員の10% = [24名]
	5倍による選考 期受取の評定+学力検査+面接(特色検査/実技した場合) ※各資料の比率は各校が定める	
選考方法	学力検査+面接 (+特色検査/実技した場合)	

※第1次選考の定員は、小人数以下を切り捨てた数値になります。

◇ S値の算出方法と選考の手順

① A~Dの資料を100点満点に換算した数値a~dを算出する。

A: 調査書 (重点化しない場合) (2年9教科合計 + 3学年9教科合計 × 2) ÷ 135 × 100 …… 100点満点 [a]
B: 学力検査 (重点化しない場合/各教科100点で5教科とした場合) 5教科の合計得点 ÷ 500 × 100 …… 100点満点 [b]
C: 面接 面接の結果 …… 100点満点 [c]
D: 特色検査 (実施した場合) 特色検査の結果 …… 100点満点 [d]

② 第1次選考

a~dの数値に各校が定めた係数(比率)を乗じてS₁値を算出する。
 S₁値は1000点満点となる。ただし、特色検査を実施した場合は、最大で1500点満点となる。
 S₁値の順位にしたがって、募集人員の90%までを合格とする。

$$S_1 = \frac{a \times f + b \times g + c \times h + d \times i}{\text{調査書 学力検査 面接 特色検査}}$$

- ※ f・g・hの係数(比率)は2以上の整数で、f+g+h=10になるように配分する。
- ※ iの係数(比率)は5以下の整数で、f+g+h=10に加える。

③ 第2次選考

b~dの数値に各校が定めた係数(比率)を乗じてS₂値を算出する。
 S₂値は1000点満点となる。ただし、特色検査を実施した場合は、最大で1500点満点となる。
 S₂値の順位にしたがって、募集人員まで合格とする。

$$S_2 = \frac{b \times g + c \times h + d \times i}{\text{学力検査 面接 特色検査}}$$

- ※ g・hの係数(比率)は2以上の整数で、g+h=10になるように配分する。
- ※ iの係数(比率)は5以下の整数で、g+h=10に加える。

④ 比率による調査書の評定と学力検査の関係

Table with columns: 学力検査, 調査書, 調査書の評定1つ分に相当する学力検査の得点(※)

<表の見方>
① 調査書・学力検査・面接の比率の組み合わせは、全部で15種類あります。
② 「学力検査の重い順」は、15種類の比率の組み合わせを、調査書の評定1つ分に相当する学力検査の得点が重い順に、1位から15位までならべた順位です。

「これまでの入試制度から継続」 全県がほぼ1学区制

2004年春までは、公立高校普通科には学区が設けられており、18学区に分けられていました。2022年度入試における学区制度は、以下のようになっています。

学区のない(または県内全域が学区の)全日制高校
神奈川県立のすべての高校
横浜市立のうち、戸塚(音楽コース)・横浜商業・横浜サイエンスフロンティアの各高校
川崎市立のうち、川崎総合科学・幸(ビジネス教養科)・市立川崎・橘(スポーツ科・国際科)の各高校
横須賀市立横須賀総合高校

学区がある全日制高校
<横浜市全域が学区>
横浜市立のうち、東・戸塚(一般コース)・桜丘・みなと総合の各高校 ※学区外は定員の8%以内
横浜市立のうち、南・金沢の各高校 ※学区外は定員の30%以内
<川崎市全域が学区>
川崎市立のうち、橘(普通科)・高津・幸(普通科)の各高校 ※学区外は定員の8%以内

※ 定時制・通信制高校や、徳川樹園生徒特別奨励などについては、県内全域が1つの学区です。ただし、東武横浜総合(総合学科)は、横浜市内全域(横浜市外は8%以内)です。また、川崎市立の定時制普通科は、川崎市全域(川崎市外は8%以内)です。

④ 公立高校別 入学選抜実施方法一覧(2022年度入試・全日制)

Table with columns: 地区, 学校名, 募集定員, 競争率, 5科目の配点, 学力検査の配点/科目数, 特色校立の種別

面接シートは「入学を希望する理由」、「中学校での様々な活動に対する意欲」、「自分のよいところ」などを自分で書いて提出するものです。これは面接の際の参考資料として使うもので、書いてある内容について評価は行いません。

1 なぜこの学校に入学したいのですか。
ここには、あなたが志願する高等学校に入学したいと思っている理由や、入学後の高校生活の中で自分の興味・関心や意欲を生かしてどのようなことに取り組みでいきたいかなどについて記入してください。

2 中学校での得意な学習活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。
ここには、あなたが中学校の学習で力を入れて取り組んだことや興味・関心をもったことなどについてどのように意欲的に取り組んだか記入してください。

3 中学生のときに教科等以外の活動に対して、どのような意欲をもって取り組みましたか。(学校外の取組みでも構いません)
ここには、中学生の時に所属していた部活動や委員会などの活動、ボランティア活動など学校外の取組みなどについてどのように意欲的に取り組んだか記入してください。

4 自分自身のよいところとどのようなことと向き合っていますか。
ここには、面接の際に参考となるよう、「自分にはこのようなよい面がある」というあなた自身の強みや長所について記入してください。

【記入上の注意】 ① 内容は記入しないこと。 ② 内容は自ら記入すること。 ③ 書きかき直しは認めないこと。
志願時に、面接シートだけでなく、「学校独自の様式による提出用紙」を提出する高等学校もあります。30・31ページの「特色検査の概要」で、必ず確認してください。

県立相模原陽南高等学校では、面接シートの代わりに、「課題レポート」を提出します。

※ 令和4年度神奈川県公立高等学校入学選抜募集案内より抜粋。 ※ 面接日は前年度からの変更箇所を表します。 ※ 募集定員には選抜募集を含みます。

Table with columns: 地区, 学校名, 募集定員, 競争率, 5科目の配点, 学力検査の配点/科目数, 特色校立の種別

※令和4年度公立高校入学者選抜試験より抜粋。
※単位制普通科・総合学科については、所在地の地区に含めて発表しております。

※掲載は前年度からの変更箇所を表します。
※掲載決定員には選抜結果を含みます。

※令和4年度特別推薦公立高等学校入学者選抜試験より抜粋。
※単位制普通科・総合学科については、所在地の地区に含めて発表しております。

※掲載は前年度からの変更箇所を表します。
※掲載決定員には選抜結果を含みます。

地区	学校名	得意点	昨年度	比	1次選考		2次選考		特色検査の項目	
					学力検査の得意点/得意点	2次選考の得意点/得意点	2次選考の得意点/得意点	2次選考の得意点/得意点		
平塚区	平塚江南	318	-	3:5:2	1		8:2	1	自己表現	
	彦野	358	-	3:5:2			8:2			
	大洗	278	-	4:4:2			8:2			
	伊志田	289	-	4:4:2			8:2			
	彦野菅原	278	40	4:4:2			8:2			
	高浜	231	-6	4:4:2			7:3			
	伊勢原	228	-	4:4:2			7:3			
	二宮	238	-	5:3:2			6:4			
	彦野総合	238	40	4:4:2			7:3			
	平塚湘風	238	40	5:3:2			6:4			
湘南区	小田原	318	-	3:5:2	1		8:2	1	自己表現	
	西湘	348	40	4:4:2			8:2			
	尾新	239	1	4:4:2			8:2			
	山北	190	1	4:4:2			7:9			
	小田原東(普通)	118	1	4:4:2			8:2			
	大井【列強行バスカール】	158	1	-	-	特別			自己表現	
	東北区	巨木	358	-	3:5:2	2		8:2	2	自己表現
		大和	278	-	3:5:2	1		8:2	1	自己表現
		海老名	398	-	3:5:2			8:2		
		彦前	278	-	3:5:2			8:2		
大和南		278	-	3:5:2			8:2			
厚木東		198	-	4:4:2			8:2			
有馬		318	-	4:4:2			8:2			
厚木西		238	-	4:4:2			7:9			
辰瀬		318	-	5:3:2			8:2			
産間総合		228	-	4:4:2			7:3			
相模原市	厚木北(普通)	238	40	4:4:2			8:2			
	大和南	308	-	4:4:2			8:2			
	厚木南	230	-	4:4:2			8:2			
	緑園西	318	49	5:3:2			7:3			
	愛川 栄	228	1	5:3:2			7:3			
	大和東【列強行バスカール】	232	1	-	-	特別			自己表現	
	相模原	278	-	4:4:2	1		8:2	1	自己表現	
	相模原弥生(普通)	188	-	4:4:2			8:2			
	藤沼台	358	-	4:4:2			8:2			
	上清瀬	358	-	4:4:2			8:2			

※相模原市立3中学校からの選抜結果(上記の内4校)では、開校のみを掲げます。

地区	学校名	得意点	昨年度	比	1次選考		2次選考		特色検査の項目
					学力検査の得意点/得意点	2次選考の得意点/得意点	2次選考の得意点/得意点	2次選考の得意点/得意点	
農業	平塚農商(農業系)	156	4	6:3:2			7:3		
	相模原(園芸)	78	2	4:4:2			8:2		
	相模原(園芸)	39	1	4:4:2			8:2		
	中央農業	195	3	4:4:2			6:4		
	三浦物産(都市農業)	39	1	3:4:3			7:3		
	西田農(農業系)	117	3	5:3:2			6:4		
	神奈川工業(デザイン)	274	3	4:4:2			8:2		
	神奈川工業(デザイン)	39	1	4:4:2	3		8:2	3	実践
	商工(総合技術)	118	1	5:3:2			6:4		
	桜子工業	234	4	5:3:2			8:2		
工業	川崎工科	238	1	4:4:2			7:3		
	向の岡工業	234	3	4:4:2			5:5		
	横浜工業	234	3	4:4:2			7:3		
	平塚工科	238	1	5:3:2			6:4		
	横浜工業	238	1	5:3:2			6:4		
	小田原理工工業(デザイン)	195	3	5:3:2			6:4		
	小田原理工工業(デザイン)	39	1	6:3:2			6:4		
	市立川崎総合科学(デザイン)	156	-	5:3:2			6:4		
	市立川崎総合科学(デザイン)	39	-	5:3:2	3		6:4	3	実践
	商工(総合ビジネス)	118	1	5:3:2			6:4		
商業	平塚農商(総合ビジネス)	158	1	5:3:2			7:3		
	小田原東(総合ビジネス)	118	1	4:4:2			8:2		
	相模原(総合ビジネス)	118	1	4:4:2			8:2		
	厚木商業	168	-39	5:3:2			7:3		
	市立横浜商業(商業)	109	-	4:4:2			8:2		
	市立横浜商業(デザイン)	39	-	4:4:2	3		3:7	5	実践
	市立横浜商業(デザイン)	118	-	4:4:2			6:4		
	湘南科学	166	1	5:3:2			7:3		
	市立川崎(生活科学)	39	-	4:4:2			6:4		
	市立川崎(生活科学)	39	-	5:3:2			6:4		
その他の専門学科	二俣川看護福祉(看護)	78	1	5:3:2			8:2		
	二俣川看護福祉(福祉)	78	1	5:3:2			8:2		
	横浜南(福祉)	78	1	4:4:2			8:2		
	津久井(福祉)	39	1	5:3:2			7:3		
	市立川崎(福祉)	39	-	4:3:3			4:6		
	市立横浜(スポーツ)	158	-	3:5:2	2		8:2	2	自己表現
	市立川崎総合科学(科学)	39	-	4:4:2			7:3		
	厚木北(スポーツ)	39	-	4:4:2	4		8:2	4	実践
	相模原弥生(スポーツ)	78	-	4:4:2	4		2:8	5	実践
	市立横浜(スポーツ)	39	-	3:3:4	5		4:6	5	実践

○待機生徒の比率の内訳は、自己表現1・実践2

3 2021年度 公立高校合格者データ

① 高校別 内申平均早見表 (2021年春)

※2021年の合格者の内申平均を一覧表にしたものであり、神奈川県全体の選抜結果に基づきます。
※内申＝平均値×3(135点満点)
※括弧は、選抜データを加えた指標値であることを表します。
※掲載は、順位制高校を表します。
※順位制普通科・総合学科は、所在地の地区に含めて発表します。

内申	普通科・単位制普通科・総合学科									
	横浜北	横浜中	横浜南	川崎	横浜須賀	横浜藤ヶ丘	相模原	相模原	相模原	相模原
130	相模原									
120	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原
110	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原
100	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原
90	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原
80	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原
70	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原

内申	普通科・単位制普通科・総合学科										専門学科										
	横浜北	横浜中	横浜南	川崎	横浜須賀	横浜藤ヶ丘	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	相模原	
130																					
120																					
110																					
100																					
90																					
80																					
70																					

※相模原市立3中学校からの選抜結果(上記の内4校)では、開校のみを掲げます。

② 高校別 学力検査得点平均早見表 (2021年春)

得点	普通科・単位制普通科・総合学科			
	横浜北	横浜中	横浜南	川崎
460	横浜京浜		横浜緑ヶ丘	湘南
440	川和	横浜緑ヶ丘		多摩
420	横浜平沼	市立金沢		横浜緑ヶ丘
400	市立緑丘	市立南		湘南
380	市立京浜	松田		大船
360	元石川	市立戸塚		横浜西
340	藤見	市立戸塚		横浜西
320	藤見	市立戸塚		湘南
300	藤見	市立戸塚		湘南
280	藤見	市立戸塚		湘南
260	藤見	市立戸塚		湘南
240	藤見	市立戸塚		湘南
220	藤見	市立戸塚		湘南
200	藤見	市立戸塚		湘南
180	藤見	市立戸塚		湘南
160	藤見	市立戸塚		湘南

※2021年春の合格者の学力検査得点平均を一覧表にしたものであり、神奈川県立の進路調査に基づきます。

得点	普通科・単位制普通科・総合学科				専門学科	得点
	鎌倉・原沢 茅ヶ崎	平塚・秦野・伊勢原 伊勢原	横浜	相模原		
460						460
440						440
420						420
400						400
380						380
360						360
340						340
320						320
300						300
280						280
260						260
240						240
220						220
200						200
180						180
160						160

4 国・私立高校入試のしくみ

① 国・私立高校の選抜方法

神奈川県私立高校の入学者選抜方法には、以下のような種類があります。多くの高校は、これらの中から2種類以上の方法を採用して実施しています。

推薦入試

出願時に中学校長からの推薦書を提出する入試です。2022年春は、山手学院、常盤生入試と全団体入試の募集のみを行う慶應義塾湘南藤沢、書類選考を行う鎌倉学園・法政大学第二・法政大学国際の計5校を除くすべての私立高校が推薦入試を実施します。

その高校を第1志望としている生徒が対象です。試験は面接のみ(作文を提出する高校もある)で、筆記試験は行われないのが一般的です。ほとんどの学校の場合、中学と高校の間で事前に入試相談が行われるため、内申などの出願資格(打診基準)を満たしていれば、不合格になる可能性はほとんどありません。ただし、慶應義塾のように、出願資格を満たしていても不合格者が出る高校もあります。

※2012年春まで多くの高校で行われていた推薦Ⅱ(公立高校の前期選抜に比べて併願可)は、公立高校の入試制度の変更(前期選抜の廃止)により、2013年度入試からは実施されていません。

一般入試(書類選考)

名前の通り、面接や筆記試験を課さず、調査書などの出願書類のみで選考する入試です。同じ書類選考であっても、法政大学国際、法政大学第二のように第1志望者のみを対象とする場合と、他校との併願が可能な場合があります。併願が可能な書類選考は、2009年春に鎌倉学園が初めて導入して以来、実施する高校が増えています。また、2021年以降は、新型コロナウイルス感染症対策として一般入試を書類選考で実施する高校が増えました。

一般入試(書類選考以外)

推薦入試・書類選考以外の入試です。ほとんどの場合、筆記試験が行われます。この一般入試はさらに3つに分けられます。

◆単願(専願・単願準約)
その高校を第1志望としている生徒が対象です。推薦入試同様、内申などの出願資格(打診基準)を満たしていれば、不合格になる可能性はほとんどありません。

◆併願(併願準約)
別の高校を第1志望としている生徒が、抑ええとして受験するものです。公立高校の併願のみ認める高校と、私立高校との併願も可能な高校とがあります。推薦入試や単願同様、内申などの出願資格(打診基準)を満たしていれば、不合格になる可能性はほとんどありません。
神奈川県内では、鎌倉学園・慶應義塾・桐光学園・日本女子大学附属・法政大学国際・法政大学第二などの疑問・上位校を除く大部分の高校が、この制度を採用しています。

◆一般受験(オープンなど)
内申などの出願資格(打診基準)がなく、試験当日の結果のみで選抜を行うものです。

※神奈川県以外の国・私立高校の場合

神奈川県以外の国・私立高校でも推薦入試・一般入試が行われていることは同じです。東京都内の高校では、併願可能な推薦を行っている高校が数多くありますが、東京都・神奈川県内の生徒は対象外です。そのためこうした高校では、東京都・神奈川県内の生徒は、一般入試の併願選考制度を利用することになります。また、自己推薦入試・AO入試などユニークな入試を行う高校もあります。

(表1) 神奈川県 私立高校の入試制度一覧表

制度の呼称	内申等の基準			他校との併願受験	
	推薦入試	あり	原則なし	受験できない (推薦不合格の場合は受験可能)	受験できない
一般入試 (書類選考)	単願(専願)	あり	なし	受験できない	受験できない
	併願	あり	なし	公立高校共通選抜を受験可能 他の国私立を一般受験できる場合あり	受験できない
一般入試 (書類選考以外)	単願(専願)	あり	あり	公立高校共通選抜を受験可能 他の国私立を一般受験できる場合あり	一般的には受験できない
	併願 (オープンなど)	あり	あり	公立・他の国私立とも併願可能	一般的には受験できない

(表2) 私立高校が採用している入試制度の例 (2022年春の予定)

高校名	区分	推薦入試	一般入試 (書類選考)		一般入試 (書類選考以外)		一般受験
			併願	併願	併願	併願	
アレセイア湘南	共	○	×	○	×	×	○
鉄倉学園	男	×	○	○	×	×	○
北鎌倉女子学園	女	○	○	○	○	○	○
慶應義塾	男	○	×	×	×	×	○
向	上	○	×	○	×	×	×
湘南学院	共	○	×	○	×	×	×
湘南工科大学附属	共	○	○	○	×	×	○
相	洋	○	○	○	○	○	×
立花学園	共	○	×	○	○	×	×
桐蔭学園	共	○	×	○	×	×	○
東海大学付属相模	共	○	×	×	○	○	△
桐光学園	別	○	×	×	×	×	○
日本女子大学附属	女	○	×	×	○	×	○
日本大学	共	○	×	×	×	×	○
日本大学藤沢	共	○	×	×	○	○	○
白鷗女子	女	○	○	○	×	×	○
平塚学園	共	○	○	○	○	○	×
武	相	○	○	○	○	○	○
法政大学第二	共	×	○	×	×	×	○
山手学院	共	×	×	×	×	×	○
横須賀学院	共	○	×	○	×	○	○
相	浜	○	○	○	○	○	○
横浜創英	共	○	×	○	○	○	○

※ △は、受け入れているが、枠が明示されていないことを表します。

② 打診基準について

前述の通り、一般受験以外の入試では、各私立高校が事前に定める内申点等の基準（打診基準）「相談基準」などと呼ばれるかどうかで、合否が大きく左右されます。
打診基準には以下のような内容が用いられます。

<内申>

9教科合計での基準を設定している高校が県内で推測を実施する高校の約8割を占め、最も多くになっています。

<内申以外の内容>

内申以外のさまざまな条件を満たしている場合に、内申合計に加点するなどの優遇制度がある高校が多くなっています。例えば、次のような内容が評価対象になります。

- ◇ 英語検定・漢字検定などの各種資格
- ◇ 生徒会役員・部活動で大会やコンクールに入賞するなどの実績
- ◇ 3年間皆勤・福祉活動・芸術活動などへの取り組み

(表3) 推薦入試の際に検定取得者を優遇する県内の私立高校 (2022年春の予定)

<英検(実用英語技能検定)>		高校名	
2級	3級	聖ヨゼフ学園(総合進学)、日本女子大学附属、中央大学附属横浜、鶴見大学附属(特進)、中央大学附属横浜、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)	聖ヨゼフ学園(総合進学)、日本女子大学附属、中央大学附属横浜、鶴見大学附属(特進)、中央大学附属横浜、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
4級	5級	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)

<漢検(日本語能力検定)>

高校名	
2級	日本女子大学附属、アレッセア湘南(特進)、中央大学附属横浜、鶴見大学附属(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
3級	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
4級	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)

<数検(実用数学技能検定)>

高校名	
2級	日本女子大学附属、アレッセア湘南(特進)、中央大学附属横浜、鶴見大学附属(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
3級	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
4級	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)

※各高校(学科・コース)が優遇する級のうち、最も下位の級を示しています。
※学校によっては、一般入試の際にも優遇します。

③ 一般受験(オープンなど)について

一般受験(オープン・フリー・純粋一般などとも呼ばれる)での募集を行う高校は、以下の2種類に分けられます。

<併願制度がない高校>

一般入試(書類選考を除く)は、一般受験のみで行い、打診基準が合否を左右する併願制度を設けていない高校です。総額・上位校に多く見られます。

(2022年春の例)

- 国立: 筑波大学附属、筑波大学附属駒場、東京学芸大学附属、東京工業大学附属科学技術など
- 県内私立: 慶応義塾、慶応義塾湘南藤沢校、相模学園、日本女子大学附属、法政大学国際、法政大学第二
- 県外私立: 青山学院、開成、慶応義塾志木、慶応義塾女子、巣鴨、早稲田実業、早稲田大学高等学院など

※ 慶応義塾湘南藤沢校は、全国体入試(神奈川県・東京・千葉・埼玉以外に在任などの条件あり)、特選生入試のみ募集。

<併願制度もある高校>

一般入試に、併願制度を同時に設けている高校です。多くの場合、併願での受験日は別の日に、オープン入試・B日程などの名称で一般受験の入試を行います。

(表4) 神奈川県内で、併願とは別に一般受験による入試を行う高校 (2022年春の予定)

高校名	
男子校	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
女子校	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)
共学校	横浜国立大学(特進)、横浜国立大学(特進)

※ 横浜国立大学・横浜国立大学(特進)の一般入試は一日のみで、併願とオープンを同日に別格で実施。

※ 併願生はチャレンジ試験とオープンが同一日程。

※ このほかにも、募集人数は明示されていなくても一般受験の可能な高校があります。

5 公立高校出願者の主な併願国私立高校

- ☆ 2018年春～2021年春入試受験者について、神奈川県全県模試の追跡調査結果を集計したものです。
- ☆ 公立高校の出願は、単位制高校を表します。
- ☆ 単位制普通科・総合学科の公立高校は、所在地の地域に限定されています。
- ☆ 併願国私立高校は、公立高校の併願校として受験した場合だけでなく、国私立高校を第1志望とした場合や一般受験した場合を含みます。
- ☆ 併願国私立高校は、出願者の多い順に並んでいます。また、その公立高校出願者に占める割合が10%を超えている国私立高校を、併願校としてあります。
- ☆ 公立・国私立高校名および科目・コース名は2021年度のもので、

<横浜北>

公立高校名	併願国私立高校名									
横浜翠嵐	桐蔭学園(進学)	東京学芸大附	山手学院(特別進学)	山手学院(進学)	青陵	明徳学院(国公立)	相模学園(特別進学)	相模学園(進学)	相模女子大学(特別進学)	相模女子大学(進学)
川和	桐蔭学園(進学)	青陵	中央大附横浜	山手学院(進学)	相模学園(アドバンス)	明徳学院(国公立)	山手学院(特別進学)	山手学院(進学)	日本大学(特別進学)	日本大学(総合進学)
神奈川総合(個性化)	青陵	横浜国立大学(S選抜)	桐蔭学園(アドバンス)	鶴沼(英語)	桜葉林(進学)	横浜翠嵐(国際)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(特進)
神奈川総合(国際文化)	法政大学国際(グローバル探究)	青陵	桐蔭学園(アドバンス)	鶴沼(英語)	桜葉林(進学)	横浜翠嵐(国際)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(特進)
市ヶ尾	桐蔭学園(アドバンス)	桜葉林(進学)	助産大学	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(進学)	鶴沼大学	多摩大学目黒	鶴沼大学	多摩大学目黒	鶴沼大学
市立東	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
港北	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
元石川	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
鶴見	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
岸根	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
荏田	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
溝が丘	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
城郷	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
新栄	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
新羽	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
鶴見総合	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
白通(山)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)
田奈	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(特進)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(文理)

<横浜中>

公立高校名	併願国私立高校名									
光	山手学院(進学)	青陵	日本大学藤沢(普通)	日本大学(特別進学)	鎌倉学園	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
希望ヶ丘	山手学院(進学)	日本大学藤沢(普通)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	鎌倉学園	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
横浜平沼	青陵	日本大学藤沢(普通)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	鎌倉学園	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
市立桜丘	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
市立戸塚(一)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
市立戸塚(香)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
松	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
瀬谷	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
金井	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
舞岡	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
旭	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
上矢部(普通)	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
横浜緑園	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
横浜桜陰	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
保土ヶ谷	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)
横浜旭陵	横浜翠嵐(文理)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(特別進学)	横浜翠嵐(普通)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)	横浜翠嵐(S選抜)

<鎌倉・藤沢・茅ヶ崎>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Transfer Destinations. Includes schools like 湘南学院, 山手学院, 桐蔭学園, etc.

<平塚・秦野・伊勢原>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Transfer Destinations. Includes schools like 平塚学院, 秦野学院, 伊勢原学院, etc.

<相模原>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Transfer Destinations. Includes schools like 相模原学院, 相模原女子学院, etc.

<農業に関する学科>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Agricultural Course Destinations. Includes schools like 平塚農業, 相模原農業, etc.

<県西>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Transfer Destinations. Includes schools like 小田原, 西湘, 足柄, etc.

<県央>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Transfer Destinations. Includes schools like 厚木, 大和, 海老名, etc.

<工業に関する学科>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Industrial Course Destinations. Includes schools like 神奈川工業, 商工, etc.

<商業に関する学科>

Table with 10 columns: Public School Name, School Type, and Commercial Course Destinations. Includes schools like 商工, 平塚商業, etc.



国私立高校 合格のめやす早見表

(2022年度用11月版)

※神奈川県模試データにもとづく、合格可能性80%ラインを示します。
 ※2021年10月現在の情報に基づきます。偏差値および各校が募集する学科は、今後変動する可能性がありますので、ご注意ください。
 ※OPは、オープン入試の随です。80%ラインが併願入試と大きく異なる高校のみ記載しています。
 ※欄外は、該当する一般入試での募集を後記添付表なしで実施する予定のため、偏差値は参考値です。

横浜市・川崎市の高校		
男子	女子	共学
75	横浜国立大	横浜国立大
70		横浜国立大
65	日本女子大	横浜国立大
60		横浜国立大
55		横浜国立大
50		横浜国立大
45		横浜国立大
40		横浜国立大
35		横浜国立大
30		横浜国立大

神奈川県(横浜市・川崎市以外)の高校		
男子	女子	共学
75		
70		
65		
60		
55		
50		
45		
40		
35		
30		

※掲載校は2022年度の入試科目を掲載しています。